

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名：小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

サービス種類：グループホーム ・ 小規模多機能型居宅介護

地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

地域密着型通所介護 ・ 認知症対応型通所介護 （該当に）

日 時： 令和8年 2月12日 10時00分～10時45分

場 所： 小規模多機能型居宅介護事業所ほほえみ

委 員： 3人

利用者代表	0人	知見を有する者	2人
利用者家族	0人	大田市職員	1人
地域住民の代表	0人		
事業所職員 (職名：しおさい施設長・管理者・リーダー)			3人

1. 報告事項：

(1) 利用者の状況

①入所者、登録者、利用者の人数

(小規模多機能居宅介護は、通い・訪問・泊りの利用者状況を加える)

a) 登録者数及び男女比

	12月	1月
登録数(月末時点)	27名	26名
男性：女性	8：19	8：18

b) 地域

	12月	1月
仁摩町	17名	16名
温泉津	6名	6名
大森町	1名	1名
五十猛町	1名	1名
水上町	1名	1名
大田町	1名	1名

c) 要介護度

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	変更申請
12月	0	2	11	9	4	0	1	0
1月	0	2	11	8	4	0	1	0

d) 年齢構成

	65歳未満	65歳以上	75歳以上	85歳以上	95歳以上	平均年齢
		75歳未満	85歳未満	95歳未満		
10月	0	0	7	13	7	89.53歳
11月	0	0	6	13	7	89.38歳

(2) サービスの提供状況

① サービスの提供回数

a) 月当たりの平均サービス提供回数

	12月	1月
通いのべ人数/月 (平均)	380人 (12.2人/日)	329人 (10.6人/日)
宿泊のべ人数/月 (平均)	165人 (5.3人/日)	146人 (4.7人/日)
訪問のべ回数/月 (平均)	308回 (9.9回/日)	275回 (8.8回/日)
のべサービス 提供回数/月	853回	750回
のべ利用日数/月	775日	775日
登録者一人当たり の平均利用回数	一人当たり 7.7回/週	一人当たり 6.77回/週

b) 長期宿泊および過少サービスの状況

長期宿泊の方 12月1名、1月1名。週平均4回以下の過少サービス状態の方が12月5名・1月5名おられました。長期宿泊、過少サービス状態の方については各利用者の心身状況・生活状況、本人・家族の希望を報告し、委員より不適切指摘はありませんでした。

c) 感染症対策

項目	内容
通い	○ 通常対応中 検温、風邪症状の有無などの健康チェックは引き続き行っている。 ホールテーブルにアクリルパネル設置。 県外行き来されるご家族には自己チェックお願いしている。
泊り	○ 通常対応中
訪問	○ 通常対応中
面会制限	○ 体調確認して頂き、面会室を利用している
人員体制	○ 現在職員16名。欠員なし
職員の対応	○ 手洗いなどの標準予防策
業者の入館	○ 玄関対応可能な業者は玄関対応 その他業者は玄関で体温測定後に消毒、マスク着用してもらい入館
備品の状況	○ マスク・消毒液・プラスチック手袋 → 備蓄あり ○ 予防衣・フェイスシールド → 備蓄あり

(3) しつらえ・環境作り

①室温・換気・湿度

適宜窓を開放し、外気温に合わせて開放量調整。

冬場に入り、湿度が低下。加湿器稼働中。

②感染症予防のための取組み（新型コロナウイルス感染症対策を含む）

毎日の管理 : 換気・手すり等消毒（2回）

空間洗浄機（次亜塩素酸水）の終日稼働

週2回の管理 : 次亜塩素酸ナトリウムを使用した床拭き

③設備・機器の整備

- ・12月1日にほほえみの照明を蛍光灯からLEDに変更。

④過ごしやすい空間作りの取組

12月1日	リビング壁面
1月1日	リビング壁面

(4) 地域と職員のかかわり

①参加行事

- ・12月24日 クリスマス会 利用者12名
- ・1月18日 地域食堂まんまんちゃん参加 利用者1名 職員1名

②実習受入れ

なし

③民生委員・関係機関等との連携

利用者についての情報交換行った。

(5) 利用者の生活に地域とのつながりをもつ取組

①利用者個別の地域行事参加支援

- ・地域食堂参加

・

②利用者全体の外出支援・地域行事参加支援

- ・なし

③通院支援

定期受診日の予約票保管、受診促し	7名
処方薬の受領、支払い代行	4名
体調不良時の主治医への状態報告、受診手配	4回

④町内買い物代行

5名を継続支援中です。

⑤町内支払い代行

法人預り金管理規程に準じて6名からお預りし、支払いを代行しました。
購入支援の主な内容は、受診代、薬代、紙おむつ代、食材購入代でした。

(6) 防災・災害対策

12月 デイサービスセンターむつみ苑合同避難訓練 実施

地震想定で避難訓練を実施。

(7) 質を向上するための取組

①研修（職場内外）の実施・参加

12月26日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価
1月30日	事業所ミーティング	利用者に関する情報伝達・小規模計画評価

会議にて各利用者の支援見直しを行いました。

介護事故の発生状況

- ・12月24日 誤薬事故
- ・1月9日 車ドア手挟み事故

(8) 人権・プライバシーの保護

①身体拘束の有無

実施の必要性なし。

① 虐待防止活動

なし

② 苦情相談

なし

意見・アドバイス

○施設長

- ・インフルエンザが流行している。先日は仁摩保育園にて流行した。食中毒も他施設で発生しているので、感染症対策を徹底する必要がある。
- ・しおさい近辺にて猿の被害がでている。罠には全くかからず、困っている状況。

○委員

- ・ほほえみ利用者は介護1と介護2の方が多いが、独居の方も多く生活に支障がでていないか。
→認知症がある方も多く、生活に支障がでている。できる限りの生活支援をしている。大田市独居世帯が2000以上。天涯孤独の方も多く、成年後見制度の利用もあるが、後見人のできることは限られている。特に手術などの同意はできず、行政としても課題と感じている。ACPを事前を書いてもらうなどしてもらうしかないか。
- ・職員が忙しいとのことだが、職員人数が増えたりするのか。
→法人全体で職員不足で増員は困難。代わりに、生産性向上のために言語入力ができるシステムを導入した。ITを利用しながら間接業務を減らし、サービスの質の向上に努めていく。

○大田市職員

- ・インフルエンザの流行が続いている。感染症対策を継続してほしい。